

2020年10月26日

一般社団法人 大阪府訪問看護ステーション協会  
会員施設 管理者 様

関西医科大学看護学部  
研究責任者 三木 明子

訪問看護事業所における新型コロナウイルス感染症に伴う  
ハラスメント被害に関する実態調査  
ご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

さて、私どもは現在、訪問看護事業所における新型コロナウイルス感染症に伴うハラスメント被害に関する実態調査に取り組んでおります。大阪府の訪問看護事業所で訪問看護師が受ける新型コロナウイルス感染症に関連したハラスメント被害の実態を把握するため、先日、事業所の管理者宛てにアンケートをお送りさせていただきました。

本調査は大阪府の訪問看護師が受ける新型コロナウイルス感染症に関連したハラスメント被害に関する調査であり、今後のハラスメント被害の対策等を推進していくうえで、非常に重要となります。訪問看護ステーションが大変お忙しいことは十分に承知しておりますが、大阪府の訪問看護ステーションが一丸となって声を上げてハラスメント被害の実態を示さなければ、看護協会や大阪府に問題提起や要望を提出することができないのではないかと考えております。

そのため、一般社団法人大阪府訪問看護ステーション協会様の訪問看護ステーションの管理者の皆様にもご協力いただきたく、お願い申し上げます。締め切り期日は遅れてかまいませんし、事業所に届いていない場合には、調査票を郵送させていただきます。是非とも問い合わせ先にご一報ください。

敬具

記

1 研究課題名

訪問看護事業所における新型コロナウイルス感染症に伴うハラスメント被害に関する実態調査

2 研究目的、意義

新型コロナウイルス感染症に関連したハラスメント被害の支援と防止策を検討するために、本研究では、訪問看護師を対象としたハラスメント被害の実態を明らかにすることを目的としています。

【問い合わせ先】 関西医科大学看護学部 教授 三木明子

e-mail : [mikiaki@hirakata.kmu.ac.jp](mailto:mikiaki@hirakata.kmu.ac.jp) 直通電話 : 072-804-0175

以上